

=次世代ものづくり=
“Additive Manufacturing（3Dプリンティング）”
を活用した新創造製造システム講演会
開 催 案 内

日 時：平成25年11月22日（金） 13:30～17:30（受付開始 13:00）

場 所：スタンダード会議室 虎ノ門 HILLS 店 2階 AB会議室

（港区虎ノ門3-6-2 第二秋山ビル2階 虎ノ門駅・神谷町駅より徒歩5分）

主 催：一般財団法人製造科学技術センター

定 員：120名（締切り期日前でも定員になり次第締切らせて頂きます。）

参加費：資料費 2000円（MSTC賛助会員等は無料）

申込〆切：平成25年11月15日（金） 17:00まで

（プログラム等詳細情報は、逐次更新致します <http://www.mstc.or.jp> をご覧下さい）

開 催 趣 旨

我が国のものづくり産業は、国際コスト競争力等の関係から厳しい状況にあり、革新的な技術進歩を求め日進月歩努力をし続けています。

このような中、米国ではオバマ大統領が、2013年の一般教書演説で3Dプリンターを「ほぼ何でも作ることができるマシン」であり、製造業の将来を牽引する存在であるとたたえ、巨額を投じてNAMII（National Additive Manufacturing Innovation Institute）を設立し、世界の脚光を浴びています。また我が国でも経済産業省では来年度三次元造形技術関連で新たな予算要求を行っているところ です。

製造のパラダイムシフトをおこす可能性がある次世代のものづくりの新たな“波”として、3Dプリンティングをはじめとする積層造形技術（Additive Manufacturing）が大きな注目を集めています。積層造形技術は、複雑な形状を持った製品を短時間で製造できる可能性があり、今後高付加価値製品の製造や材料の有効利用ということで環境に対する期待も大きくなっています。また積層造形技術は大量生産によりコストを削減するという今までの製造業のパラダイムを逆転する可能性を持っています。しかし、その実用性に関してはまだまだ課題が多く、また積層造形技術や3Dプリンティング技術を生かしていくための用途についてもまだ広い検討の余地があります。技術的に見ても装置開発だけでなく、設計技術（CAD）、素材（粉体）技術、品質検証（評価）技術、標準化等多くの課題があります。

今回の講演では、3Dプリンティングをはじめとする積層造形技術について、技術動向とこれからのビジネス展開についての現状や産学の取組の紹介を行い、次の世代を担う新たな“ものづくり”のあるべき姿を模索します。

製造科学技術センターでは、今回の講演会にもものづくり関係各方面の方々に多数ご参画いただき、共に議論を深めていただくことにより、今後の日本のものづくりの競争力強化に繋がりたいと考えております。

多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

プログラム

- 13:30 開会挨拶 一般財団法人 製造科学技術センター
専務理事 瀬戸屋 英雄
- (講演)
- 13:35～14:20 AM・3D-Printer の技術の現状期待される製品化と標準化戦略
新野 俊樹 (東京大学 教授)
- 14:20～15:05 AM・3D-Printer の新たな企画デザイン戦略
山中 俊治 (東京大学 教授)
- 15:05～15:15 休憩
- 15:15～16:00 AM・3D-Printer の歴史、技術動向、世界情勢と実用化機器
早野 誠治 (株アスペクト 代表取締役)
- 16:00～17:15 AM・3D-Printer に関するパネルディスカッション
パネラー 新野 俊樹
山中 俊治
早野 誠治
コーディネーター 間野 隆久 (MSTC)
- 17:15～17:30 Additive Manufacturing (3Dプリンティング)
人材教育カリキュラムの紹介 間野 隆久
- 17:30 閉会

注：講演者、講演内容は、都合により変更になる場合がございます。
詳細は、ホームページでご確認下さい。

当件における連絡先：

一般財団法人製造科学技術センター 調査研究部 間野、鈴木 (3d-prin@mstc.or.jp)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門5森ビル5階

TEL 03-3500-4891 FAX 03-3500-4895

製造科学技術センター ホームページアドレス：<http://www.mstc.or.jp>

会場案内図



http://spaceuse.net/toranomon_hills_map.pdf

“Additive Manufacturing（3Dプリンティング）” を活用した新創造製造システム講演会

2013年11月22日

参加申込書（参加証）

氏名	
会社／団体名	
役職	
いずれかに○をつけて下さい MSTC賛助会員 学会会員 FAOP会員 IAF会員 APSOM会員 官公庁 一般	
連絡先電話	
FAX	
メールアドレス	
受付番号 (事務局で記入)	

FAXまたはEメールでお申し込み下さい。

FAX あて先 03-3500-4895

Eメールアドレス 3d-prin@mstc.or.jp

当日はこの参加証を受付にご提示下さい。

所属が「一般」の方は、当日資料費として2千円いただきます。（会社宛の領収書を発行します。）

一般財団法人製造科学技術センター